

(参考)

## スウィンホーキノボリトカゲ (*Japalura swinhonis*) について

### 1. 生態について

- ・ 原産地：台湾の標高 1,500m以下のほぼ全域。周辺島嶼を含む。
- ・ 日本での定着状況：静岡県磐田市で定着が確認されている。
- ・ 確認時期：平成 18 年
- ・ 同地域に定着した本種は、台湾から輸入された観葉植物に紛れて侵入した可能性が示唆されている。
- ・ 最大全長 300mm、最大頭胴長 88mm に達する。

### 2. 生態系に関わる影響

- ・ アリ類を中心として、コウチュウ目、チョウ目、カマキリ目、クモ類などを捕食し、さまざまな昆虫に影響を及ぼす
- ・ 樹上で昆虫を捕食する昆虫類や鳥類との競合も想定される。

### 3. 特定外来生物への指定

- ・ スウィンホーキノボリトカゲは、平成 28 年 8 月に外来生物法に基づく特定外来生物に指定された。
- ・ 本種は、平成 28 年 10 月 1 日から、飼養、保管、運搬、放出、輸入等の規制が開始される。